

戦後50年・戦争体験手記

○あの日、あの時のことを…

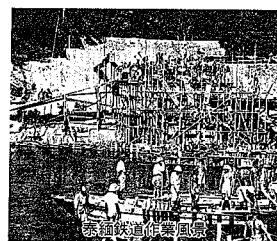
従軍中の思い出

大原 一栄
(草水町1)



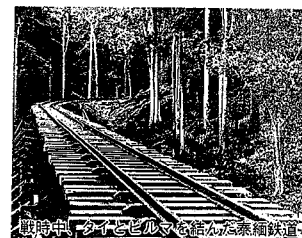
大原さんは、昭和十九年三月に鉄道第七連隊の一員としてシンガポールに渡りました。渡航中、同僚船が潜水艦の魚雷の攻撃を受けるのを目の当たりにして、死を覚悟したそうです。当時、泰緬鉄道作業の事務員をしていましたが、終戦を迎え帰国船に乗るとき、「これで日本に帰れるんだなあ」と思い、何かホッとした。たね。戦争を知らない人たちは、今の日本が多くの人たちの犠牲の上に成り立っていることを知ってほしい」と話しています。

大原さんは戦友会の会報「たいめん」が届けられるのを、毎年楽しみにしているそう。



私は昭和十九年三月、鉄道第七連隊の第四中隊・林中隊長の指揮下に存り、徳永部隊の本部要員となった。輸送船閩丸に乗船、一路シンガポールをめざした。シンガポール入港という一歩手前で、夜に敵の潜水艦の攻撃を受け、突然僚船が青白い巨大な火柱を発生し、忽ち火炎に包まれた。その時は小生はもう駄目かと覚悟して甲板を右往左往するばかりであった。その時中隊長は僚侶であったので、甲板の一角に座って一心不乱に観音經の偈を誦読していた。小生も只々その姿に敬服して一緒に存命を祈願したことが、今ここに思い出されてならない。

四月二日、無事にシンガポールに入港を果たして、直に四月十日列車にてシンガポールを出発し、泰國のノンブアドンクに向かう。大隊は四月二十二日、パンポン発キヤンヨークに前進、第二天隊は南方軍野戦鉄道司令部第四特設鉄道司令官の渡辺大佐の指揮下に入り、第十連隊に協力して泰緬鉄道ワンヤとアランカシ間の保線並びに橋梁架替作業を命ぜられた。敵の空からの攻撃に遭遇しながら突貫作業を続けた。その為か第三小隊に在籍していた戦友の戦傷死、続いて第二小隊の仲間も戦傷死した。特有の気候風土や灼熱地獄のジャングル、また食糧も欠乏して栄養失調で倒れる者、マラリア病にかかり、多くの兵士が野戦病院に転送された。小生も軽いマラリアにかかり入院するが、軽いため同僚の看病等に当たる。運よく命を落とすことなく約一年間英豪蘭の命令に従い停戦となり、仕事に従事し、やつとここで昭和二十一年七月に帰国した。その際には鉄道部隊並びに英豪蘭の停戦、現地人等四万数千人に及ぶ



戦時中、タイとビルマを結ぶ泰緬鉄道

尊い犠牲者があつた事を忘れてはならない。停戦も現地人もお互いにいたわり合い、一つの心になつて、この泰緬鉄道の難工事をわずかに一年三月で完成させた。それは愚者を越えた美しい魂が大いなる偉業を築かせたのであります。

終戦から五十年になり、当時のことを思い、今更ながら平和の有り難さを身を感じつつ筆をとりました。

(注)

- ①泰緬鉄道 タイとビルマ(現在のミャンマー)を結ぶ軍輸鉄道で、完成には困難を極めた。
- ②マラリア病 熱帯・亜熱帯に多いマラリア原虫感染病。周期的な発熱発作が特徴で、貧血が肝臓腫がみられる。
- ③野戦病院 戦場の後方に設け、戦線の傷病兵を一時収容して治療する病院。

日本の最終戦争

坂爪 俊平
(本町2)



私は昭和十六年一月、当時ソ満国境の斐徳に新設された戦車十一聯隊に入隊し、その後公主嶺、さらに千葉県習志野にある二聯隊へ転属しました。そして、昭和十九年六月、入隊する学徒教育招集の補充兵と共に北千島北端の占守島に渡りました。思えば北千島は、昭和十八年八月アッツに於ける将兵の「玉降」^{また}、キスカの撤兵を始めてとして国土防衛の最前線となりましたが、昭和十九年一月関東軍から転進した十一聯隊は、「十一」を「十一」になぞらい「十連部隊」として敵の前に意気盛んとなつていま

レロ島の守衛は祖国防衛の使命感に燃え、総兵力三万二千人、火砲二百門、戦車一台、聯隊八五輛を擁していました。昭和二十年八月十八日未明、既に終戦を迎えたことで、我が軍は矛を取めましたところ、不法にもソ連軍は突如として国境・竹園浜に上陸攻撃をしかけてきました。我が軍は自衛のため反撃を開始し、戦いは激烈を極め、敵を海上に撃破しましたが、なおも血戦死闘は続き、村上大隊が攻撃を実施すると、砂浜はソ連兵の遺体で埋まり、一方我が最前線の独立守備隊も全滅でした。その後第一波、第二波と敵の舟艇は怒濤の如く押し寄せ、こんな小さな島に二万の大軍を投入して、我が軍をいっしょに押しつぶそうと「やっつき」になつていました。これに対して、村上大隊(六百名程度)はどうにもならず、戦場を覆う霧は濃いくともあり、全く状況がつかないまま島

の中央の四嶺山まで押さえてしまいましたが、その後、上陸する場所の反対斜面・千歳台で待機していた戦車隊が出撃し、群が

る敵中に突入して敵を驚愕させましたが、ソ連対戦車砲の上陸攻撃で池田聯隊長を中心に殆どの各隊長が炎上し、四嶺山は赤い血汐で染まりました。池田聯隊長は出撃にあたり「各隊長車は部下の集結を待つことなく、即刻勦を奉告しつつ、予以続行すべし」と命令していました。我が軍は約四百名の将兵が祖国の敗戦に殉じたが、勇猛果敢な闘魂は敵の心胆を寒くさせ、占守島以南の島々、或いは北海道にまで及ぶかもしれない戦禍を占守島一島で食い止めた。ソ連の野望を挫かせました。こうして我が軍は絶対有利に展開した戦闘も矛を取り、八月二十三日秋に雨降ししる三好野飛行場で悲憤の涙にぬれながら武装解除が行われました。四万余りの将兵は遠くシベリア、さらには極地のカリマとソ連領に送られ捕虜の身になりました。そして血の滲む想いであこがれた祖国日本の土を離れ、戦中、戦後とも数十倍の戦友が苦役

- ①北千島 千島列島の北側。第二次世界大戦ではソ連との戦いにおける最前線地帯となり、多くの血が流された。
- ②アッツ 太平洋北部、アリユシヤン列島の西端にある小島。
- ③キスカ 太平洋北部、アリユシヤン列島の西部にある小島。

第二次世界大戦中、日本軍守備隊の奇跡の撤退で知られている。

あなたのご意見を
お聞かせください

戦争体験手記を読んだ感想やご意見を寄せてください。

送付先 新津市企画調整課広報秘書係 (〒956 新津市程島2009番地、☎24-2111 内線331)へ。

お買物、ご用命は市内で

お買物、ご用命は市内で

私は、ときどき、うっかりする。

だから、あんしん機能つき セイフティガス機器をおすすめします。

ガス安全使用講習運動実施中 (9月1日~11月30日)

主催: (社)日本ガス協会 (社)日本燃焼ガス協会
後援: 道新産業省資源エネルギー庁
協賛: (社)日本ガス石油産物工業会

越後天然ガス(株)
新津(24)2171 荻川(25)2100

花キューベット 全国どこにでもお届けします

花に託して心を贈る

小林生花店
新町1丁目 TEL 22-1080
22-5707(夜)

内科・小児科・レントゲン科

大坂医院

新町1丁目6-12 TEL 245122